

議 事（１）

公共交通空白地域の実証運行結果について

公共交通空白地域（常盤町・柏木町） における実証実験の結果 ～ 乗降者数の状況・アンケート調査の結果～

登別市市民生活部
市民協働グループ

1. 利用者の乗降状況の概要



■ 実証実験目的

- ・利用ニーズを把握し、必要な交通施策を検討していくための基礎データを得るため。

■ 実証実験期間等

- ・運行期間 令和5年7月11日（火）～令和5年8月29日（火）
- ・運行日数 14日
- ・1日の便数 7便

■ 利用者数（延べ人数）

- ・893人

■ 利用者数の把握方法

- ・市職員の添乗による乗降把握 と アンケート調査 による。

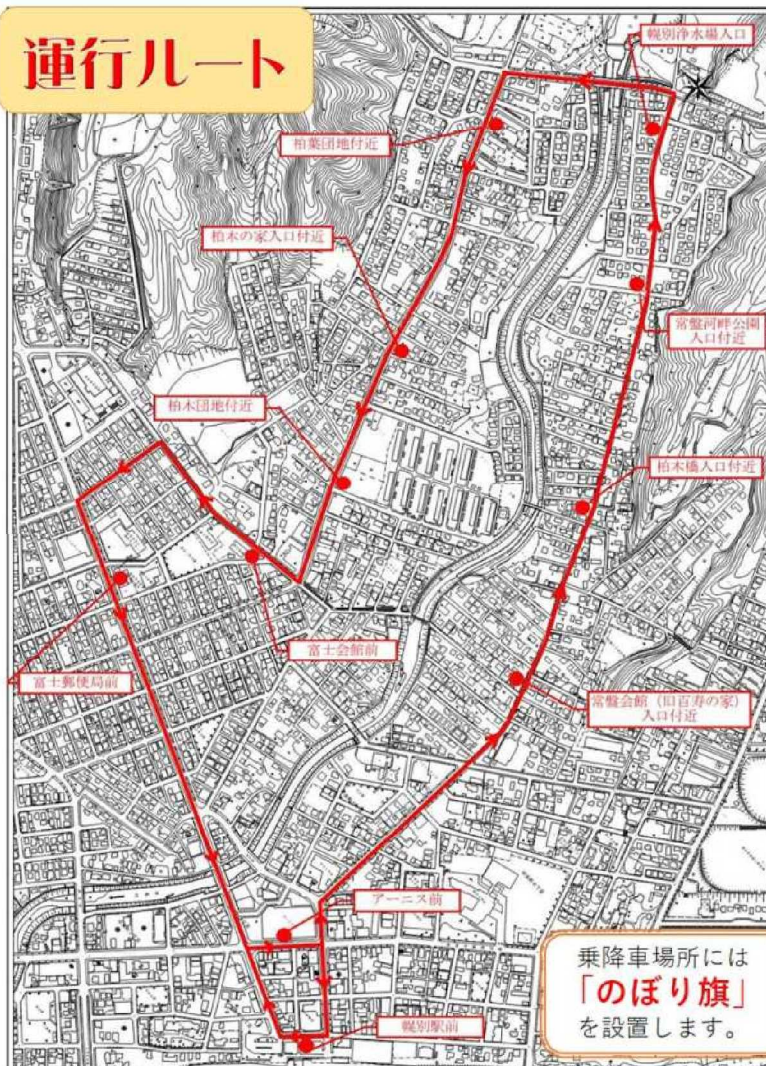
2. 運行経路及び時刻表

■ 時刻表

乗降車場所	午前			午後		
富士郵便局前	—	—	10:40	11:20	12:50	14:10 15:30
梶別駅前	—	9:45	10:43	11:23	12:53	14:13 15:33
アーニス前	—	9:46	10:44	11:24	12:54	14:14 15:34
常盤会館（旧百寿の家） 入口付近	8:15	9:48	10:46	11:26	12:56	14:16 15:36
柏木橋入口付近	8:16	9:49	10:47	11:27	12:57	14:17 15:37
常盤河畔公園入口付近	8:17	9:50	10:48	11:28	12:58	14:18 15:38
梶別浄水場入口	8:18	9:51	10:49	11:29	12:59	14:19 15:39
柏葉団地付近	8:19	9:52	10:50	11:30	13:00	14:20 15:40
柏木の家入口付近	8:21	9:54	10:52	11:32	13:02	14:22 15:42
柏木団地付近	8:22	9:55	10:53	11:33	13:03	14:23 15:43
富士会館前	8:23	9:56	10:54	11:34	13:04	14:24 15:44
富士郵便局前	8:25	9:58	10:56	11:36	13:06	14:26 15:46
アーニス前	8:27	10:00	10:58	11:38	13:08	14:28 15:48
梶別駅前	8:28	10:01	10:59	11:39	13:09	14:29 15:49

※ は、運行日

運行ルート

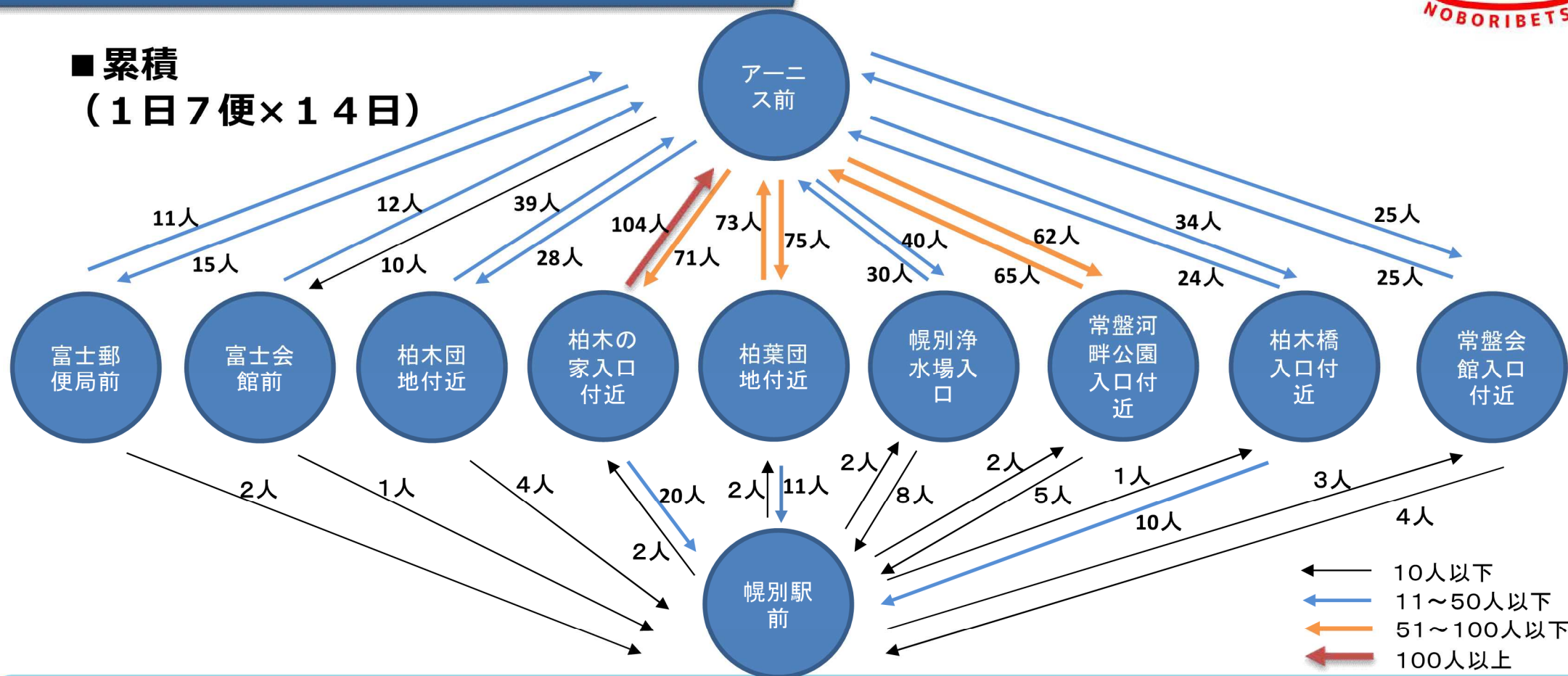


乗降車場所には
「のぼり旗」
を設置します。

3. OD図の概要①



■ 累積 (1日7便×14日)

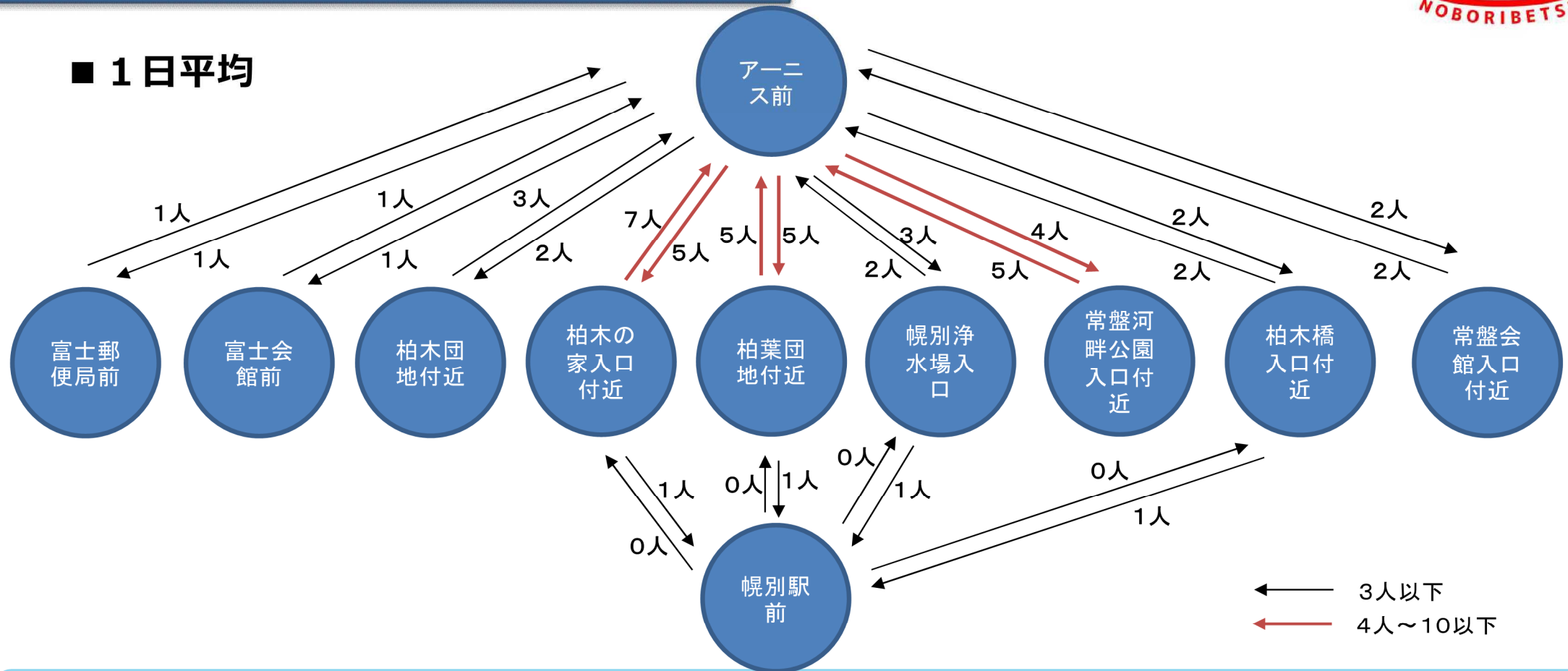


登別市
City of Noboribetsu

3. OD図の概要②



■ 1日平均



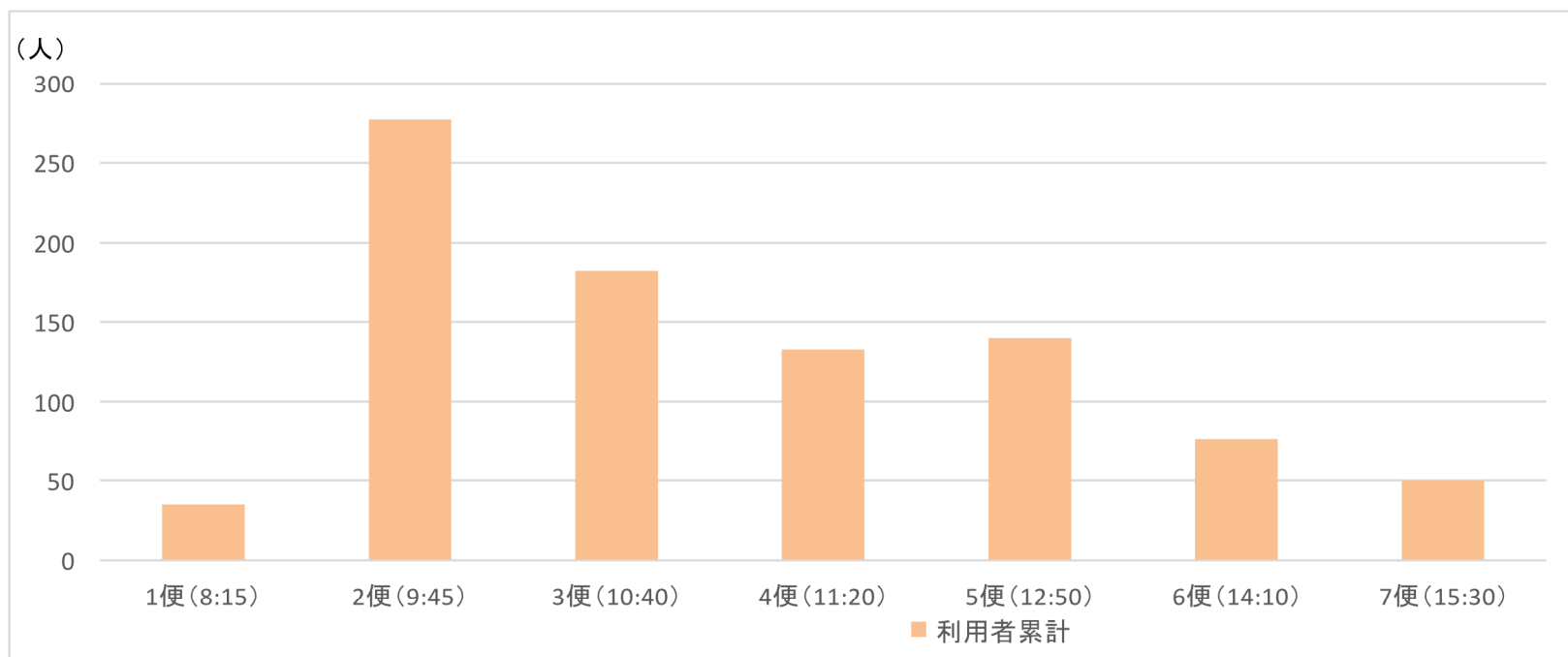
登別市
City of Noboribetsu

4. 時間帯別の利用状況



■ 傾向

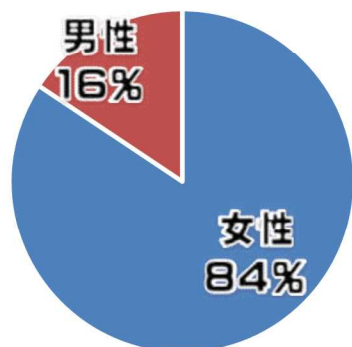
- ・ 1 便は医療機関を想定していたが利用者が少なかった。
- ・ 2 便は商業施設を想定したところ、一番、利用が多かった。



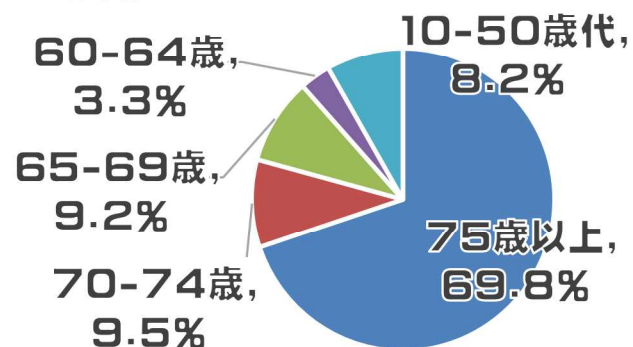
5. アンケート調査結果①



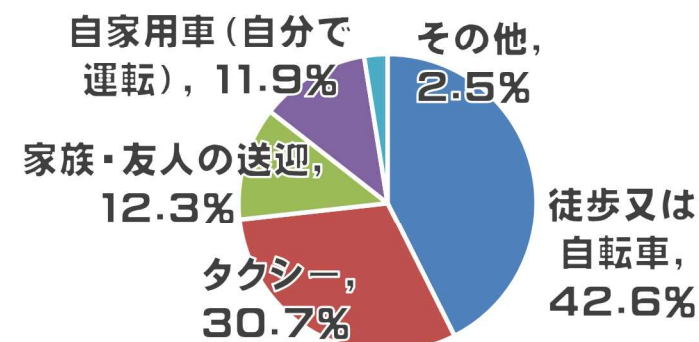
■ 性別



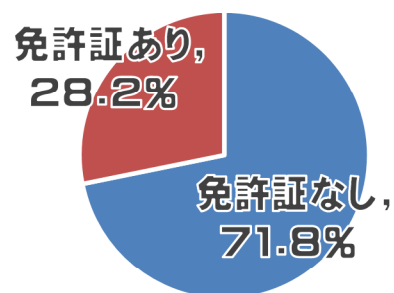
■ 年齢



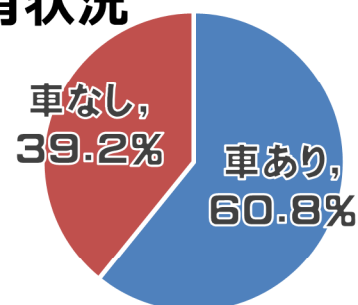
■ 普段の交通手段



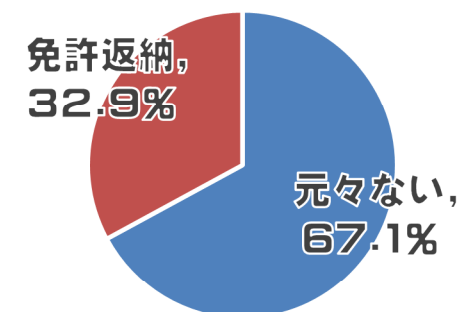
■ 運転免許証の有無



■ 運転免許がある方の車所有状況



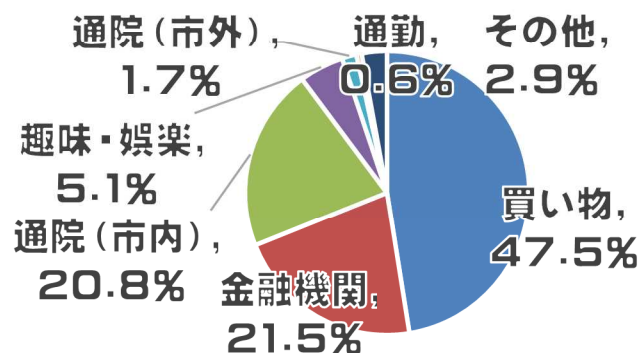
■ 運転免許がない方の内訳



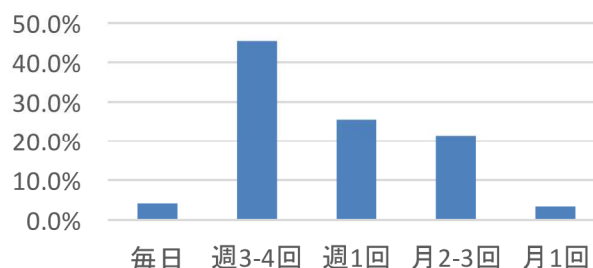
5. アンケート調査結果②



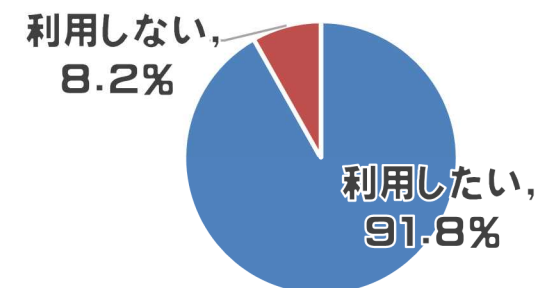
■ バスの利用目的



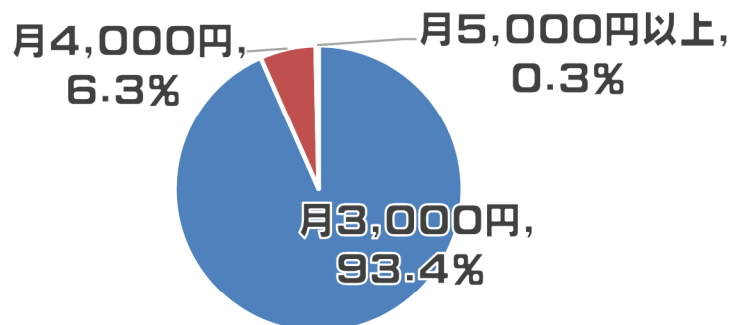
■ 定期便となった場合の利用頻度



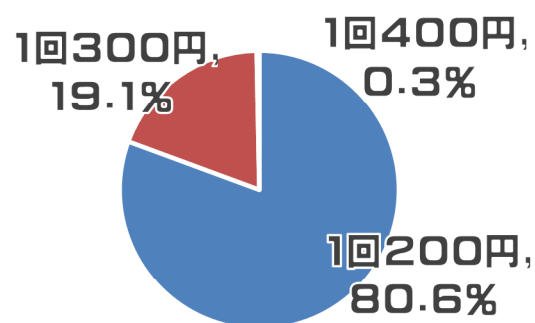
■ 有料となった場合の利用の有無



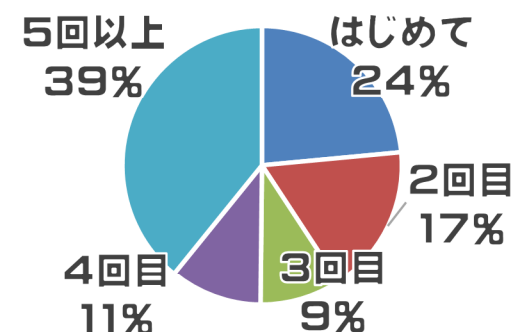
■ 月額の適正額



■ 都度払いの適正額



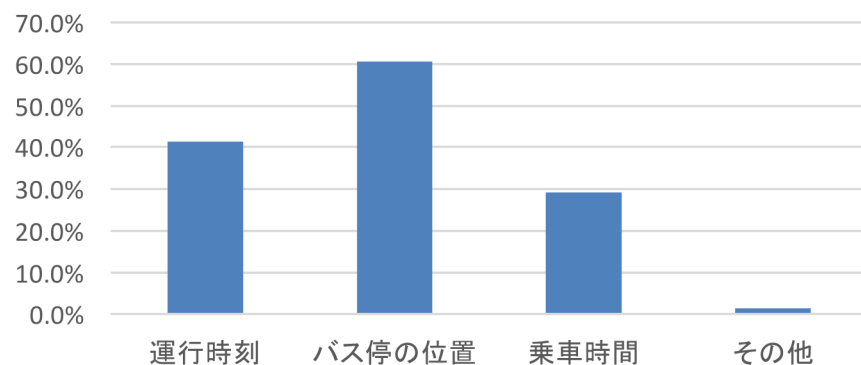
■ 利用回数



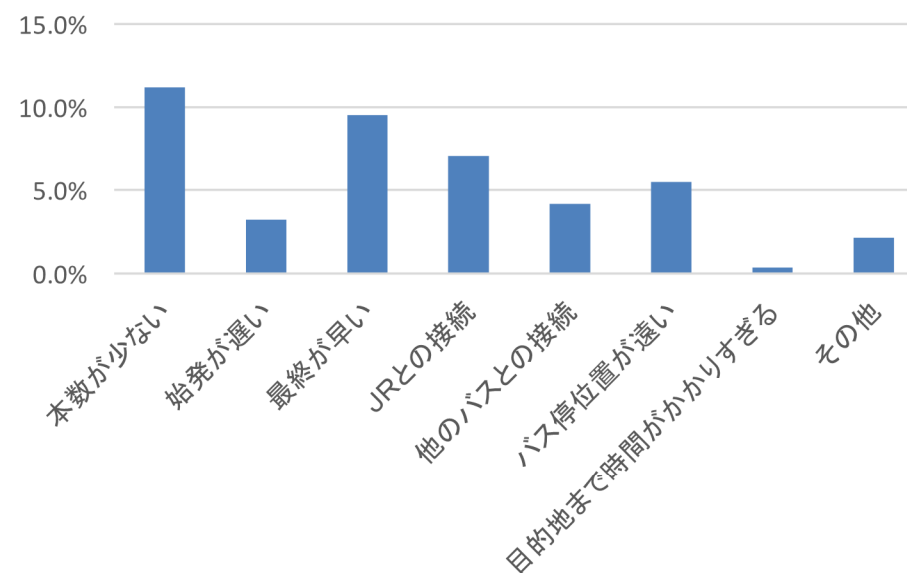
5. アンケート調査結果③



■良かった点



■悪かった点



5. アンケート調査結果④



■主な自由意見

- ・ 将来、車を辞めたら利用したい。
- ・ とてもありがたい。実施をお願いしたい。
- ・ 買い物が便利でとても良い。
- ・ 永く続けて欲しい。
- ・ 高齢者が多い地域の運行で非常に助かる。
- ・ 中央町の他の商業施設や桜木町の商業施設にも行って欲しい。
- ・ もう少し早い時刻の利用を希望します。
- ・ 外出する機会が増え、高齢者の健康にも良く楽しみが増えた。
- ・ 土日も運行して欲しい。
- ・ タクシー初乗り料金より高いと利用しづらい。

6. 交通事業者の聞き取り状況



■ 交通事業者への影響

○ タクシー事業者

- ・ 実証実験期間の1年前と比較すると、月150～200件程度の利用減少となった。
 - ※ 実証実験の1日平均利用者数は63人
 - ※ タクシーの利用者減少数を運行日で割り返すと1日25件
 - ※ アンケート調査では30%の方が普段はタクシー利用と回答し、上記では40%であり、一定程度の影響があったと言える。
- ・ 地域の交通を検討する必要があることは理解するが、実証実験を実施する場合は、タクシーも利用するような仕組みを検討してほしい。

○ 路線バス事業者

- ・ 実証実験の運行経路に一部、路線バスの運行経路が含まれており、アフターコロナで実証実験の影響は見えてこない部分はあるが、ドライバーからの苦情等はなく、マイナスなイメージはない。

7. 地域との意見交換の主な内容



■ 実証実験後における地域との意見交換会での意見

- ・ 利用は、高齢者の買い物目的が多かったため、乗降場所までの距離は短い方がよい。
※路上で手を挙げて乗車・降りたい場所で降車や、メイン通りから1本中に入った道路も走行するなどの意見。
- ・ バス停の増設、便数の増便、土日祝の運行の希望があった。
- ・ タクシー利用は、金銭的に気軽に使えないが、使う機会はあるので、利用助成してほしい。
- ・ 地域により不公平感がでないように進めて欲しい。
- ・ 利用ニーズにあった交通とすることで、地域の多くの方が利用できるものとしてほしい。

8. まとめ①



■利用状況

- ・利用者の約9割は高齢者であり、当該地域の高齢者に占める利用割合は14%であった。
- ・5回以上利用した方が多く、当該地域の高齢者に占める割合は約11%であった。
- ・午前10時幌別駅着の便の利用が一番多く、アンケート調査からも買い物目的（47.5%）が多かった。
- ・目的地は、駅が少なく、商業施設前がほとんどであった。
- ・幌別駅から離れた地域の利用者が多かった。

■経路等

- ・利用者は高齢者の買い物利用が多く、足腰などの身体状況から、乗降場所と自宅の距離は短い方がよい。
- ・買い物目的から、他地域を含めた様々な店舗に行きたいとのニーズがある。
- ・平日以外も、土日祝も運行して欲しいとの意見があった。

8. まとめ②



■ 料金設定

- ・ アンケートでは、記載している最安値への回答が多かった。
- ・ アンケート記載の料金設定は高すぎるとの意見が多かった。

■ 既存交通事業者への影響

○ タクシー事業者

- ・ 実証実験期間中は、1日あたり約40%の利用件数の減少があったと推測される。
- ・ 事業者の意見として、営業に相当な影響があったことから、既存交通事業者に配慮した交通の仕組みの構築が求められる。

○ 路線バス事業者

- ・ 実証実験の運行経路の一部が路線バスの運行経路となっていたが、目に見える大きな影響は感じられなかった。
- ・ 駅からの路線バスに乗り換えをした利用者も目に見える形ではなかった。

9. 主な公共交通の種類①



種類	内容
コミュニティバス	明確な定義はなく、市町村が主体となって運行するバス全般を指すとされている。従前、民間事業者が運行してきた路線バスに比べて、地域のニーズにあわせて柔軟に運行することが特徴。
乗合タクシー (路線型)	10人乗り程度のワゴン車等を利用して、不特定多数の人の相乗りにより運行されるもの。 運行形態は時間とルートを決めた運行。
乗合タクシー (区域型)	10人乗り程度のワゴン車等を利用して、不特定多数の人の相乗りにより運行されるもの。 エリア全体をカバーするデマンド型による予約運行などが多い。
交通利用助成	既存タクシーを利用する際に、費用の一部を助成するもの。

9. 主な公共交通の種類②



種類	メリット	デメリット
コミュニティバス	・特別な配車システムなど必要としない ・事前登録・事前予約がいらない	・一般タクシーから乗客を奪う可能性がある ・利用者が少ないと財政負担が大きくなる
乗合タクシー (路線型)	・特別な配車システムなど必要としない ・住宅地内の狭隘道路でも運行できる ・事前登録、事前予約などが必要ない	・乗車人数は最大9人(乗務員除く)と少ない ・乗降地点に近い地域、遠い地域で利便性が大きく異なる ・乗降に時間がかかる
乗合タクシー (区域型)	・戸口から戸口への輸送が可能で、高齢者等に優しい輸送手段 ・住宅地内の狭隘道路でも運行できる ・導入地域において公平な乗車機会を提供できる	・乗車人数は最大9人(乗務員除く)と少ない ・事前登録・事前予約をが必要で抵抗感がある ・決まった時間に到着するとは限らない ・配車システム等の導入に費用がかかる ・予約受付係を配置しており費用がかかる
交通利用助成	・既存交通の利用促進が期待できる ・戸口から戸口への輸送が可能で、高齢者等に優しい輸送手段 ・住宅地内の狭隘道路でも運行できる	・タクシーの台数により待ち時間が長くなる ・利用者が多くなると行政の財政負担が大きくなる

10. 委員からお聞きしたい事項



■ 当該地域で考えられる交通

■ 各委員が懸念する事項

■ その他

1 1. 今後の予定について（公共交通空白地域）



時期	項目	備考
令和5年11月	令和5年度第2回登別市 地域公共交通活性化協議会	・実証実験結果の報告
令和5年12月～ 令和6年5月	他市町村の事例研究とシミュレーション	・手法ごとのシミュレーション ・関係機関への協議
令和6年6月	令和6年度第1回登別市 地域公共交通活性化協議会	・交通支援策の方向性について検討
令和6年6月～	・随時、関係機関との調整 ・随時、地域公共交通活性化協議会	
令和7年度		・交通支援策のスタート